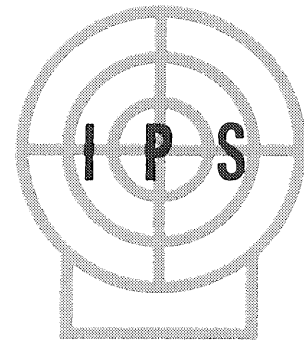




大阪市阿倍野区  
湖崎眼科病院  
院長 湖崎 弘

カナダのバンクーバーで5月9日から12日までI・P・S（国際視野研究会）が開かれ出席した。すでに3日前の6日からN・O・C（国際神経眼科学会）も開かれていて、9日から合同の学会となった。日本からは50名以上の参加があった。バンクーバーを訪れたのは3度目、前回の4年前の訪問時に比べて街がさらにきれいになったのに驚いた。I・P・Sを中心に街の見聞の一端を写真を主体にご紹介しよう。

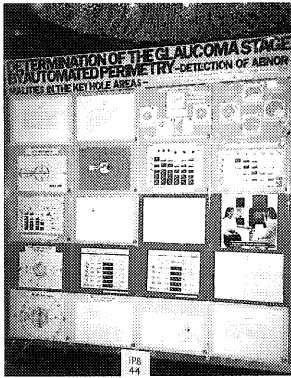


スケジュール

5・8(日)	12:35伊丹→成田発17:45 CP004便
"	10:15バンクーバー着。市内観光
5・9(月)	午前中観光。午後I・P・Sの登録。 19:00ウェルカムパーティ
5・10(火)	8:30より学会。 18:00オルガンとトランペットのリサイタル
5・11(水)	8:30より学会。
5・12(木)	8:30より学会。19:00ディナーパーティ
5・13(金)	13:55 CP003 便にて出発、 帰国の途につく
5・14(土)	15:50成田着→伊丹

■問題が多かった合同の学会

合同の学会だから当然参加者は多く、各国から出る演題も多い。演題があまり多すぎたために、セレクトシ



①

ョンするにあたって抄録だけの審査で却下されたものがかかりあったようだ。英語のあまりうまくない日本人にはこれはかなり不利であるが、やむを得ないことかもしれない。

また、学術展示は別にスライド二枚を使い、説明と討論で一人が約五分。それも一般講演と同じ会場での展示やセッションがあった。この新しい展示形式はI・P・S独自のものであるが、他の学会でもまねてよいものと思う。

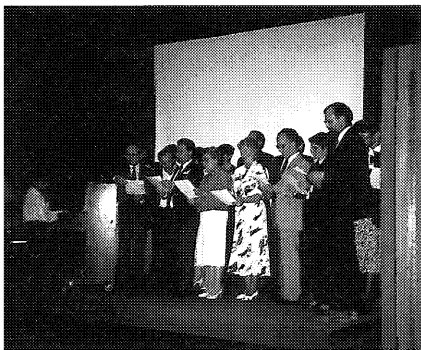
(写真①) 私が出展した学術展示

■さびしいメンバーの移り変わり

I・P・Sは1974年にパリで開かれた第一回以来、二年ごとに世界各地で開かれてきた。今回のバンクーバーは第八回にあたる。私はパリ以外はすべて参加したが、旧地のメンバーが一人、二人と姿を消していく。ゴールドマン教授、ハルムス教授も長らく顔を見ていないが、今

回はヘイレー博士、フリードマン博士も出席していなかった。メンバーの移り変わりにはいささか感傷的になる。

■全員で「上を向いて歩こう」合唱  
晩餐会では各国がそれぞれの国の歌を披露する「歌合戦」が恒例にな



②

っている。今回の日本組は北沢先生が音頭をとり、全員で「上を向いて歩こう」を元氣よく歌った。

今回はイタリア組がちよつと手の込んだ演出をみせたり、二曲も三曲も歌う国が出てきた。少し行きすぎの面があり興奮の感も…。

(写真②) 地元カナダ組の合唱

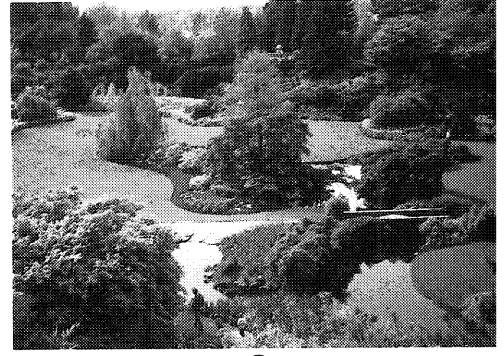
■すし屋など目だつ日本人の進出

バンクーバーはアメリカの国境に接しているためか、イギリス伝統の秩序のよさにアメリカの解放性がうまうまかみ合っている。それに町の様子も訪れるたびにきれいになっていく(写真③)街の中にあるピクトリア公園)。世界で最も美しく住みよい街の一つではなかるうか。



④

街で目につくのがカガミ張りのビルが多いことだ。(写真④)のように隣接する建物がカガミに映えて見なれぬ目には実に美しい。また、海岸には大きなホテルが建っている。パシフィックホテル(写真⑤)もその一つ。ホテルの中にサントリー



③



⑥

■白人の歴史を物語るものが…

街にはすし屋、居酒屋といった店が増え、日本人の進出が目立つ。西海岸だから日本人の観光客も多い。そのうちには日本語で不自由しなくなり、日本から団体ですしでも食へに行こうという連中も出てくるのは…。



⑤

(燦鳥と書く)というレストランがあって、落ちついた雰囲気であく食事ができる。

しかし、この庭園は人工的すぎる上に、色のコントラストが強すぎて我々にはもう一つ…。中にあるジャパニーズガーデン(写真⑦)に着いたときには何かホッとした。



⑦

■人工的すぎる ブッチャート ガーデン  
バンクーバーを訪れた人がきまつて足を運ぶのがビクトリア市であり、ブッチャートガーデンである。広くて、美しい(写真⑦)ガーデン入口。

プリティッシュュコロンビア大学の中に博物館がある。が、飾ってあるのはカナダイアンディアンが彫ったもの(写真⑥)とか、使ったものとかカナダイアンディアン歴史を物語るものだけ。白人の国でありながら自分らの歴史を語るものが何一つ見当らない。ちよつと奇異な感じがした。

■ホテルはきれいだったが…  
私が泊ったのはフォアシーズンホテル。きれいなホテルだったが、到着して部屋へ入ったら水洗トイレがこわれていた。従業員がすつとんできたものの一人では修理できず、二人がかりで直すのがやっと。翌日は洗面所の電球が切れていてまた文句を…。だが、メードのサービスはよかった。朝食のルームサービスも日本の約半分の千円、味にも満足した。飛行機は往復ともカナディアン航空を利用した。最近、社名が変わった会社だが、機内のサービスはよくないし、スチュワーデスは孫でもおりそうな年ごろの人がいて、なんだかこわい感じ、そうそうに寝てしまつたが…。



⑧